

図画工作

発行者の番号 略称			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年 (調査冊数)
番号	名称	略称			
9	開隆堂出版	開隆堂◆	図工 105・106 305・306 505・506	A4 388	令和5年 (12冊)
116	日本 文教出版	日 文◆	図工 107・108 307・308 507・508	A4 398	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

「採択資料1」【都立小学校調査研究資料(内容 a)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 図画工作

発行者の番号 略 称	学年	9 開隆堂	116 日文
a 協働的な活動の扱い	第一・二 学年	<p>(上巻) 「スタンプぺったん」(造形遊び:P28・29)では、題材名の下に「えのぐを つけたら どんな かたちになるのかな。みんなで うつすと もっと たのしい。」という、導入の文書を記載している。児童が友達と材料を選ぶ様子や、友達のスタンプに自分のスタンプをつなげたり重ねたりする様子、見つけた形や色について対話する様子を掲載し、「みつけた かたちや いろの ことを はなしたり きいたりしよう。」という説明を付している。</p>	<p>(上巻) 「カラフル いろみず」(造形遊び・鑑賞P20・21)では友達と一緒に色水をつくり、色の変化を味わう様子や友達と一緒に「ミックスジュースやさんだよ。」「きらきらの さかなの かたちだよ。」等、イメージをもちながら色水を並べる児童の活動の様子とともに掲載している。</p>
		<p>(下巻) 「どんどん かわるよ 新聞紙」(造形遊び:P30・31)では、児童が協力して新聞紙をねじってつなげる様子をはじめ、複数の児童と一緒に活動している写真を掲載している。キャラクターが「活どうを つなげても いいね。」とコメントし、児童が協働的に活動できるようにしている。</p>	<p>(下巻) 「ダンボールに 入って みると!？」(造形遊び・鑑賞:P42・43)では、「かこんで へやに するんだ。」といったせりふと共に、複数の児童と一緒に活動し、大きな造形物をつくっている様子を掲載している。キャラクターが「どんな つかいかたを しているかな。入ってみたいのは どれかな。」とコメントし、児童が互いの活動を鑑賞しながら学習を進めることができるようにしている。</p>
	第三・四 学年	<p>(上巻) 「ようこそ! アミアミワールド」(造形遊び:P30・31)では、友達と協力して大きな網を操作し、網同士を結んだり、遊具に巻き付けたりして活動する様子を掲載している。また、「みんなでつろう ねん土ランド」(P34・35)では、題材名の下に「みんなのゆめやすきなことをもちよって、ねん土ランドをつろう。」と記載し、児童が対話をしながら協働して「ねん土ランド」をつくる様子の写真を掲載している。</p>	<p>(上巻) 「クミクミックス」(造形遊び・鑑賞:P40・41)では、大きな段ボールを扱い、友達と協力して切り込みを入れて組み合わせるなどして活動する様子を掲載している。また、「絵を見て話そう」(鑑賞:P48・49)では、題材名の下に「かんじたことや考えたことを話し合いながら見ると、絵の見え方はどうなるかな。」と記載し、友達と話し合いながら、美術作品の見方を広げる児童の様子を掲載している。</p>
		<p>(下巻) 「わくわくランドで遊ぼう」(造形遊び:P34・35)では、題材名の上に「学校や校しゃのまわりには、おもしろい場所がたくさんあるね。みんなのアイデアで、たのしいアトラクションに変身させて、」と記載している。ページ内には、校舎の周りでおもしろい場所を見つけ、場所や材料と関わり合いながら友達と対話し、協力してアトラクションをつくる児童の様子を掲載している。</p>	<p>(下巻) 「コロコロガーレ」(工作・鑑賞:P14・15)では、協働してつくる「みんなでコロコロコースター」の紹介において、「きょうかして、コースをつくらう」という説明を付している。また、「体でかんしょう」(鑑賞:P24・25)では、「友だちときょうかしながら、ポーズをとろう。」「友だちの感じたことを聞いてみよう」等、協働的な活動を促す言葉や写真を掲載している。</p>
	第五・六 学年	<p>(上巻) 「地球まるごとたからばこ」(造形遊び:P34・35)では、題材名の下に「ならべたり組み合わせたり、みんなの力でもっとすてきな空間に変えていこう。」と記載し、児童の協働的な活動の様子を掲載している。 「つながる造形 美術館をたのしもう」(P52・53)では、美術館のプログラムに参加する児童の様子を掲載し、「気づいたことや気になったこと、考えたことについて話してみよう。」等、協働的な活動を促す説明を付している。</p>	<p>(上巻) 「笑顔が生まれるしかけ」(工作・鑑賞:P38・39)では、児童が友達と一緒に、いつも使っているものに形や色の仕掛けを加えて楽しくする活動を掲載している。また、「光と場所のハーモニー」(造形遊び・鑑賞:P42・43)では、いろいろな材料や場所に光を当ててできた形を友達と一緒に味わう様子や、友達と協働して奥行きのある空間をつくる様子を掲載している。</p>
		<p>(下巻) 「ゆらめきファンタジーワールド」(造形遊び:P14・15)では、「友だちと協力してたのしく活動する。」を学習のめあてとして、児童同士が関わって造形遊びをする様子を掲載している。また、「ドリームカンパニー」(工作:P48・49)では、題材名の下に「できたらいいなと思うアイデアをつめこんで、夢の新製品をみんなで考えてつくろう。」と記載し、児童が協力してアイデアを出し合う様子や、製品についてプレゼンテーションを行う活動を掲載している。</p>	<p>(下巻) 「この筆あと、どんな空?」(鑑賞:P24・25)では、「友だちと話すとき新しい発見があるね。」というコメントとともに、少人数のグループの対話により、児童が作品の見方を広げる様子を掲載している。また、「自然を感じる素敵な場所で」(造形遊び・鑑賞:P42・43)では、身の回りにおける自然を感じる場所で活動し、どのような活動をしたのか友だちと伝え合う様子等を掲載している。</p>

「採択資料1」【都立小学校調査研究資料(内容 b)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 図画工作

発行者の番号 略 称	学年	9 開隆堂	116 日文
内 容 b 日本作品や文化の扱い	第一・二学年	(上巻) 「ちいさな びじゅつかん からだをつかって」(P22・23)において「無題」(澤田真一)、「ライブペイントの さくひん」(ロッカクアヤコ)の2作品を掲載している。また、「つくって へんしん」(工作:P48・49)のコラムでは「いろいろな おまつり」として「さぎの まい」(京都府)を掲載している。	(上巻) 「アート・カードをたのしもう」(P66)のコラム「いろいろな びじゅつかんの アート・カード」で、群馬県立館林美術館(群馬県)のアート・カードを紹介し、カードを使用して学習する児童の様子を掲載している。
		(下巻) 「みつけたよ」(P2)において、切り絵アーティスト福井利佐の作品「ツバメ」、「ミンミンゼミ」を掲載している。また、「つんで ならべて びっくりタワー」(工作:P18)のコラム「たてもの いろいろ」では世界遺産の建物として「姫路城」(兵庫県)を掲載している。	(下巻) 「きょうかしよ びじゅつかん からだで 見つける かたちいろ」(P44・45)において、「ダンボールのどうくつ」、「ぐねぐねブチブチ」(PLAY! PARK 東京都)、「実の音」(大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2015 新潟県)、「弾む水の天才ケンケンパ」(チームラボ)、「おくりもの:未知のポケット2」(箱根彫刻の森美術館 神奈川県)等、複数の日本の美術館等の展示作品を紹介している。
	第三・四学年	(上巻) 「できたらいいな」(P2)において、舞台美術家富澤奈美の作品「テーマパークのフロート」、「東京2020パラリンピック開会式のようす」を掲載している。また、「小さな美じゅつかん 表し方を考えて」(P26・27)では、「ひまわり」(岩下哲士)、「向日葵図」(葛飾北斎)を掲載している。さらに、「みんなのギャラリー」(P56・57)では、山口県下関市の「ふく風」等、日本の伝統絵画的な工芸品や芸術、文化を紹介している。	(上巻) 「教科書びじゅつかん しぜんの色」(P24～29)では、日本の土を使用した「土のライブラリー」(栗田宏一)及び、土を集める栗田さんの活動を紹介している。併せて、「春秋(双幅)」、「菱田春草」、「不喰芋と蘇鐵」(田中一村)、「散り紅葉」(東山魁夷)を掲載している。
		(下巻) 「力を合わせて」(P2)では、竹工芸家/アーティスト 四代田辺竹雲斎の作品「循環-RE-CIRCULATION-」を掲載している。また、「つながるぞうけい」(P54・55)では、町や公園に設置されている作品として「三つの帽子」(草間彌生)、「Books on the Garden」(エルド吉水)、「どろんこ坊や」(安藤泉)を掲載している。また、「地いきの学校や人々」として、「造形おかざき子展」(愛知県岡崎市)等、児童作品を屋外や地域施設等に展示する取組を紹介している。	(下巻) 「教科書美術館 体の形」(P22・23)では、「金剛力士像 吽形」(湛慶、定覚 他)、「体でかんしょう」(鑑賞:P24・25)「風神雷神図屏風」(俵屋宗達)等、伝統的な日本の美術を複数掲載している。また、「教科書美術館 光から生まれる形・色」(P42・43)では、「10番目の感傷(点・線・面)」(クワクポリョウタ)、「PiKAPiKA ワークショップ」(トーチカ)等、影や光を利用した作品で、2000年以降に制作されたものを複数掲載している。
	第五・六学年	(上巻) 「小さな美術館 動きやリズムを感じて」(P38・39)において「無題(フラフープ)」(鬼頭健吾)、「小さな美術館 作品の世界に入りこんで」(P46・47)において「DNF: 暗夜行路 眠れない町」(横尾忠則)を掲載している。また、「みんなのギャラリー」(P56・57)では、「岩槻人形」(埼玉県さいたま市)、「一式かざり」(島根県出雲市)、「獅子頭」(熊本県熊本市)等、日本の伝統行事に関連する工芸品を紹介している。	(上巻) 「広がる図工 美術館へ行く」(P56・57)では、富山県立美術館「オノマトペの屋上」(佐藤卓 富山県)等、日本国内の美術館に展示されている作品や、「シャドウ・スティックの森 三角形の影と陰」(大分県)等、美術館と連携した児童の活動の様子を複数掲載している。また、巻末に日本の作品を複数掲載した「ミニ・アートカード」を添付している。
		(下巻) 「小さな美術館 画面の迫力を味わって」(P24・25)において「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」(葛飾北斎)、「風神雷神図屏風」(俵屋宗達)、「遊虎図」(丸山応挙)等、日本の伝統的な美術作品を複数掲載している。また、「みんなのギャラリー」(P56・57)では、「江戸扇子」(東京都江戸川区)、「雄勝硯」(宮城県石巻市)等、日本の伝統の技による工芸品を紹介している。	(下巻) 「教科書美術館 受けつがれてきたきた形」(P38)では、「朝顔図屏風」(鈴木其一)等美術作品の他、切り細工(東京都)等、地域の伝統工芸品を複数掲載している。また、「もようから見つけて」(鑑賞:P39)では、「七宝」、「麻の葉」、「青海波」等、伝統的な文様や、「アットウン(背面)」(北海道)、「黄色地牡丹尾長鳥霞文様 紅型縮緬衿衣装(背面)」(沖縄県)等、伝統的な文様を配した衣装を掲載している。

「採択資料1」【都立小学校調査研究資料(内容 c)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 図画工作

発行者の番号 略 称	学年	9 開隆堂	116 日文
c 諸外国の作品や文化の扱い	第一・二 学年	<p>(上巻) 「ちいさな びじゅつかん からだをつかって」(P22・23)において、「パタゴニアの どうくつへきが」(アルゼンチン)を掲載している。また、「つくって へんしん」(工作:P48・49)のコラム「いろいろな おまつり」では、「かめんぶとうかい」(イタリア)を掲載している。</p>	<p>(上巻) 「せんせい あのね」(絵・鑑賞:P24・25)では、コラムとして「がいこくの ともだちの え」を掲載し、タイの児童作品「どうぶつえんで」を掲載している。</p>
	第三・四 学年	<p>(下巻) 「つんで ならべて びっくりタワー」(工作:P18・19)のコラム「たてもの いろいろ」では世界遺産の建物として、「シャルトル大聖堂」(フランス)を掲載している。また、「どうぶつさんと いっしょに」(絵:P24・25)のコラム「外国の 友だちの 絵」では、台湾の児童作品を掲載している。</p>	<p>(下巻) 「こんな こと あったよ」(絵・鑑賞:P26・27)では、コラムとして「がいこくの ともだちの え」を掲載し、マレーシアの児童作品「お正月」を掲載している。また、「きょうかしょ びじゅつかん からだで 見つける かたちいろいろ」(P44・45)において、「スイミング・プール」(レアンドロ・エルリッヒ アルゼンチン)、「オクテトラ」(イサム・ノグチ アメリカ)を掲載している。</p>
	第五・六 学年	<p>(上巻) 「小さな美じゅつかん 表し方を考えて」(P26・27)では、ひまわりを描いた作品として、「ひまわり」(フィンセント・ファン・ゴッホ オランダ)、「ひまわり」(フェルナン・レジェ フランス)を掲載している。また、「えっへん！ わたしが主人公です」(鑑賞:P44・45)では、ジョアン・ミロ(スペイン)の作品、「耕作地」を児童が鑑賞する様子を掲載している。</p>	<p>(上巻) 「あの日あの時の気持ち」(絵・鑑賞:P20・21)では、コラムとして「外国の友だちの 絵」を掲載し、ウクライナの児童作品「週末」を掲載している。また、「絵を見て話そう」(鑑賞:P48・49)では、「アルルカンのカーニバル」(ジョアン・ミロ スペイン)の作品を掲載し、児童が話し合いながら見方を広げる鑑賞活動を紹介している。</p>
	第一・二 学年	<p>(下巻) 「小さな美じゅつかん 形や色から ひらめいて」(P10・11)において、「アカハラシキ チョウ5.5X」(フランク・ステラ アメリカ)、「無題」(サム・フランシス アメリカ)を掲載しており、サム・フランシスについては、作品の制作風景も掲載している。また、「自然の色 どんな色」(鑑賞:P20・21)では、アンドレ・ドラク(フランス)の作品、「リウに 架かる橋」を児童が鑑賞する活動を掲載している。</p>	<p>(下巻) 「教科書美術館 体の形」(P22・23)では、「木を伐る人」(フェルディナンド・ホドラー スイス)、「無題」(キース・ヘリング アメリカ)を掲載している。また、「教科書美術館 光から生まれる形・色」(P42・43)では影や光を利用した作品として、「あなたに今起きていること、起きたこと、これから起きること」(オラファー・エリアソン デンマーク)を掲載している。</p>
	第三・四 学年	<p>(上巻) 「小さな美術館 動きやリズムを感じて」(P38・39)において「そよ風」(ブリジット・ライリー イギリス)、「サムライツリー」(ガブリエル・オロスコ メキシコ)を掲載している。また、「小さな美術館 作品の世界に入りこんで」(P46・47)では、「不安を与える女神たち」(ジョルジュ・デ・キリコ イタリア)、「飛翔」(アンドリュウ・ワイエス アメリカ)を掲載している。</p>	<p>(上巻) 「教科書美術館 身近なものを見つめて」(P22・23)において、「金魚」(アンリ・マティス フランス)を掲載している。また、「広がる図工 美術館へ行こう」(P56・57)では、「ファブニール・ドラゴンⅡ」(アレクサンダー・コールドター アメリカ)、「あなたこそアート」(チェ・ジョンファ 大韓民国)等、日本に展示されている諸外国の作家の作品を紹介している。さらに、巻末に諸外国の作品を多く掲載した「ミニ・アートカード」を添付している。</p>
	第五・六 学年	<p>(下巻) 「見て感じて わたしの表現に」(絵:P28・29)において「プーヴィルの断崖の散歩」(クロード・モネ フランス)、「記憶の固執」(サルバドール・ダリ スペイン)、「XI 空中ブランコ(コドマ兄弟) (『ジャズ』より)」(アンリ・マティス フランス)を掲載している。また、「小さな美術館 よさを感じて 取り入れて」(P30・31)において「光輪のある自画像」(ポール・ゴーギャン フランス)、「アルフォンシーヌ・フルネーズ」(オーギュスト・ルノワール フランス)を掲載している。</p>	<p>(下巻) 「この筆あと、どんな空?」(鑑賞:P24・25)では「星月夜」(フィンセント・ファン・ゴッホ オランダ)、「ジヴェルニーの積みわら、夕日」(クロード・モネ フランス)を掲載し、児童が対話を通して作品の見方を広げる活動を紹介している。また、「広がる図工 平和を願って」(P48・49)では「ゲルニカ」(パブロ・ピカソ スペイン)を掲載し、表現には、見る人にメッセージを伝える力があることを紹介している。</p>

「採択資料2」【小学校調査研究(内容の総括表)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 図画工作

項目 発行者	a 「表現」の内容別題材数					b 「鑑賞」の題材数	c 「鑑賞」学習用の資料のページ数	d 作品等の数				e 表現・鑑賞活動の過程、表現技法に、材料・用具の扱いについて具体的に示した箇所のあるページ数	f 児童が、形や色などの造形的な特徴をとりえたり考えたりすることを具体的に示した箇所のあるページ数	g 児童が、自分のイメージをもつことを具体的に示した箇所のあるページ数
	材料を基に造形遊びをする活動	表したいことを絵や立体、工作に表す活動			計			児童作品や児童の活動の様子	美術作品	生活や社会の中の形や色	計			
		絵に表す	立体に表す	工作に表す										
開隆堂	18 14.6%	42 34.1%	19 15.4%	44 35.8%	123	129	52	1086	54	58	1198	119	154	169
日文	19 17.0%	40 35.7%	22 19.6%	31 27.7%	112	128	45	1251	82	98	1431	95	133	233
平均値	18.5 15.7%	41.0 34.9%	20.5 17.4%	37.5 31.9%	117.5	128.5	48.5	1168.5	68.0	78.0	1314.5	107.0	143.5	201.0

表の中の「平均値」については、小数第2位を四捨五入した。また、%の数値についても、小数第2位を四捨五入した。

「採択資料3」【小学校調査研究(内容から抜粋)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 図画工作

発行者	開隆堂	日文
防災や自然災害の扱い	あり	あり
オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	なし	なし

	ア 目次	イ 冊子のつくり、 教材配列	ウ 表記、表現	エ 表紙・裏表紙	オ 主体的・対話的で 深い学びの実現に 向けた工夫	カ ユニバーサル デザインの視点	キ デジタル機器・ デジタルコンテンツ の取扱い	ク その他
開隆堂	<p>○題材の内容を「造形遊び」、「絵」、「立体」、「工作」、「鑑賞」のマークで示している。</p> <p>○題材名の冒頭に、題材で重点を置いて育成を目指す資質・能力に関連するキャラクターを付している。</p> <p>○目次を見開きの構成にして、目次とともに各巻で学習する題材について、写真を掲載している。</p>	<p>○各巻の冒頭に「図画工作学ぶみなさんへ」として、教科書に使用しているキャラクターやマーク等の解説を掲載している。</p> <p>○各巻末に振り返りのページを設け、学習を振り返ることができるようにしている。</p> <p>○第1・2学年上巻の巻頭には、幼稚園からの接続を掲載したページを設けている。</p> <p>○5・6学年下巻の巻末に「6年間をふりかえろう」、「中学校生活に向けて」、「未来に向かって」のページを設け、中学校での学びや、生活や社会と図画工作の学びのつながりを意識できるように構成している。</p> <p>○各巻とも、表現及び鑑賞の内容を網羅している。</p>	<p>○学習のめあてのうち、重点をおいて育成する資質・能力を赤字で示すとともに、下線を付している。</p> <p>○図画工作科において育成を目指す3つの資質・能力を「学習のめあて」として掲載し、それぞれにキャラクターを付している。</p> <p>○児童の思考や活動の過程、表現の工夫、作品の紹介を、説明文や児童の言葉で記載している。</p> <p>○題材で使用する材料・用具等を題材の冒頭に掲載している。</p>	<p>○表紙に児童作品を掲載している。</p> <p>○表紙の書名は、各教科書で児童が使用する材料を用いて作成している。</p> <p>○裏表紙に、表紙作品の紹介を掲載している。</p> <p>○裏表紙に、「保護者の皆様へ」を掲載し、図画工作を学ぶことの意義等を説明している。</p>	<p>○題材ごとに重点をおいて育成する資質・能力に関連するキャラクターとを掲載し、学習のポイントとなる視点や問い掛け等を付している。</p> <p>○題材ごとに「ふりかえり」を掲載し、児童が学習を振り返ることができる問い掛け等を掲載している。</p> <p>○鑑賞教材「小さな美術館」では、キャラクターを掲載し、見方や考え方を広げるための言葉を付している。</p> <p>○児童が協働的に学習に取り組む写真や、児童同士の会話を掲載している。</p> <p>○鑑賞題材では、鑑賞の過程が分かるように児童の活動や対話の様子を掲載している。</p>	<p>○ユニバーサルデザインに関する配慮がされている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに関する配慮を受けている。</p> <p>○各ページに掲載している作品等に番号を付して作品名等を掲載している。</p>	<p>○題材ごとにコラム「タブレットたんまつで見てみよう」を掲載し、題材に関連するコンテンツをまとめて示している。また、コンテンツを見るための二次元コードを掲載している。</p> <p>○二次元コードから、「作品カード」、「かん賞シート」、「ふりかえりシート」等をダウンロードできるようにしている。</p> <p>○導入についての映像等を見ることのできるリード文等に再生マークを付している。</p> <p>○コラム「タブレットたんまつで」により、端末を使用した活動を紹介している。</p> <p>○各巻末に資料ページ「タブレットたんまつを使おう」を掲載し、活用例を紹介している。</p>	<p>○安全指導について、題材ごとにマークを付したコラムを掲載している。</p> <p>○題材ごとに「参考」、「片付け」についてコラムを掲載している。</p> <p>○題材ごとにコラム「あわせて学ぼう」を掲載し、教科横断的な取組を紹介している。</p> <p>○各巻末に「ひらめきショートチャレンジ」として児童が資質・能力を働かせて取り組む資料を掲載している。</p>
日文	<p>○題材の内容を「造形遊び」、「絵」、「立体」、「工作」、「鑑賞」のマークで示すとともに、「表現」の題材にも、「鑑賞」のマークを付している。</p> <p>○コラム「保護者の方へ」を掲載し、図画工作を学ぶことの意義等を説明している。</p> <p>○第1・2学年下巻から第5・6学年下巻まで「図工たいそう」の紹介及び二次元コードを掲載している。</p> <p>○「教科書の使い方」、「学習の進め方」を掲載している。</p>	<p>○各巻の冒頭に「ずがこうさくがはじまるよ」、「図画工作をはじめよう」として、ガイダンスページを設けている。</p> <p>○第1・2学年上巻では、「エスター」、「りったい スタート」等、内容ごとに題材の始まりが分かるように表示している。</p> <p>○下巻の巻末に振り返りのページを設けている。第5・6学年下巻の巻末では6年間の振り返りとともに中学校での学習の様子を掲載している。</p> <p>○見開きや3連等で構成された「生活や社会の中の形や色」に関する鑑賞ページを設けている。</p> <p>○各巻とも、表現及び鑑賞の内容を網羅している。</p>	<p>○学習の流れに合わせて「学習のめあて」、「表現のヒント」「鑑賞のヒント」、「振り返り」を掲載し、マークを付している。</p> <p>○図画工作科において育成を目指す3つの資質・能力を「学習のめあて」として掲載し、それぞれにマークを付している。</p> <p>○説明文や児童の言葉として、思考や活動の過程、表現の工夫、作品の紹介を記載している。</p> <p>○題材で使用する材料・用具等をページの下部に掲載している。</p>	<p>○表紙に児童作品を掲載している。</p> <p>○裏表紙には「つながる図工」として、コラムを掲載し、図画工作の学習を通して他の教科等や他学年、地域の人とつながる活動の紹介、美術作品や作家の紹介を掲載している。</p> <p>○裏表紙に、表紙作品の紹介を掲載している。</p> <p>○裏表紙に「みんなの図工ギャラリー」として児童作品を見ることができると二次元コードを付している。</p>	<p>○題材ごとに「特に大切なめあてのヒント」として学習のねらいに関連したマークを付し、学習のポイントとなる視点や問い掛け等を掲載している。</p> <p>○「鑑賞のヒント」として鑑賞の視点の問い掛けを掲載し、キャラクターを付している。</p> <p>○題材ごとに「ふりかえり」を掲載し、児童が学習を振り返ることができる問い掛け等を掲載している。</p> <p>○児童が協働的に学習に取り組む写真や、児童同士の会話を掲載している。</p> <p>○鑑賞題材では、鑑賞の過程が分かるように児童の活動や対話の様子を掲載している。</p>	<p>○ユニバーサルデザインに関する配慮がされている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに関する配慮を受けている。</p> <p>○各ページに掲載している作品等に矢印を付して作品名等を掲載している。</p>	<p>○資料ページ「ICTでチャレンジ」、「ICTの活用」等においてICT機器の活用やプログラミングを活用した活動を掲載している。</p> <p>○コラムにてプログラミングを活用した学習活動を紹介している。</p> <p>○タブレット端末等が活用できる場面にはタブレット端末のマークを付している。</p> <p>○二次元コードから、用具の使い方の動画、360度から鑑賞できる作品、作家等のインタビュー、アプリ等が閲覧及び使用できる。</p>	<p>○安全指導及び片付けについて、題材ごとにマークを付したコラムを掲載している。</p> <p>○題材ごとに関連する用具や材料の取扱いの参考ページを掲載している。</p> <p>○題材ごとに「つながる学び」として関係する教科等を掲載している。</p> <p>○各巻末でアート・カードを活用した活動を紹介している。</p>

